

令和5年度第2回いわて県民情報交流センター(アイーナ) 指定管理者選定・評価委員会

日 時 令和5年7月24日(月) 13:30~15:30
場 所 いわて県民情報交流センター 研修室811

次 第

1 開会

2 挨拶

3 議事：令和4年度指定管理業務の評価について

(1) 評価等の進め方について【資料1】

(2) 事前評価結果について【参考資料1】

(3) ヒアリング【参考資料2, 参考資料3】

(4) 委員による評価

(5) 委員会による評価、意見交換

(6) 令和4年度指定管理業務の評価結果報告書(案)について【資料2】

4 閉会

令和5年度第2回 いわて県民情報交流センター(アイーナ)指定管理者選定・評価委員会

出席者名簿

区分	所属	職名	氏名	備考
委員 (五十音順)	岩手弁護士会	弁護士	佐藤 あすか	
	一般社団法人 岩手県建築士会盛岡支部	副支部長	武田 裕次	副委員長
	認定NPO法人 accomon	理事長	成田 礎野美	
	一般財団法人北海道東北地域経済 総合研究所	理事・主席研究員	蓮江 忠男	
	Coaching Office	代表	平野 順子	
	特定非営利活動法人 陸前高田まちづくり協働センター	理事長	三浦 まり江	欠席
	公立大学法人 岩手県立大学総合政策学部	教授	吉野 英岐	委員長
指定 管理者	統括グループ	統括責任者	佐藤 渉	
		維持管理業務 統括責任者	佐藤 正崇	
	運営グループ	運營業務統括責任者	澤田 良久	
		運營業務責任者	藤澤 剛彦	
	維持管理グループ	維持管理業務責任者	田中 直樹	
	清掃グループ	清掃業務責任者	田中 義夫	
	警備グループ	警備業務責任者	大坪 隆行	
事務局	岩手県環境生活部 若者女性協働推進室	連携協働課長	大内 玲子	
		特命課長	佐藤 宏昭	
		主任主査	村上 明子	
		主査	八重樫 恵美	
		主事	渡邊 大夢	

評価等の進め方について

1 評価スケジュール

時 期	内 容
令和 5 年 4 月～5 月	県及び指定管理者による自己評価の実施
令和 5 年 5 月 29 日	第 1 回選定・評価委員会 (1) 前回（令和 3 年度業務）評価への対応（報告） (2) 県及び指定管理者による自己評価の結果（報告） (3) 令和 4 年度業務の評価の実施方法の決定
令和 5 年 7 月 24 日	第 2 回選定・評価委員会 (1) 指定管理者へのヒアリング (2) 評価の審議 ⇒ 評価結果の公表〔9 月（予定）〕

2 評価の実施方法

(1) 評価の対象業務

令和 4 年度における指定管理者の業務

(2) 評価手順

ア 第 1 回選定・評価委員会〔5 月 29 日〕

評価方法〔評価項目（評価シート）、評価手順〕の決定

イ 委員による事前評価の実施〔～7 月 18 日まで〕

第 2 回選定・評価委員会に先立ち、委員による事前評価（評価シートの記載）を実施

ウ 第 2 回選定・評価委員会〔7 月 24 日〕

(ア) 指定管理者に対するヒアリング

(イ) 委員による評価

委員は、指定管理者に対するヒアリングの結果を基に、事前評価について適宜修正を行うとともに、改善を要する事項等がある場合は、コメント欄にその内容を記載する。

(ウ) 委員会の評価

各委員の評価を踏まえ、委員会として評価内容を審議する。

(3) 評価結果の公表〔9 月（予定）〕

事務局において選定・評価委員会での評価結果を取りまとめ、「評価結果報告書案」を作成し、全委員との調整を経た後に報告書として公表する。

※全委員に書面決議のうえ、次期指定管理者の優先交渉者の決定前に公表を行う予定とすること。

3 令和5年度第2回選定・評価委員会の日程等

次 第	時間配分 (参考)	備 考
1 開 会	13 : 30	
2 挨 拶	13 : 30～13 : 32	2分
3 議 事 令和4年度指定管理業務の評価について		
(1) 評価の進め方について	13 : 32～13:40	8分
(2) 事前評価結果について		
(3) ヒアリング	13 : 40～14:20	40分
指定管理者から取組内容等を説明		4分×5項目
質疑		4分×5項目
(4) 委員による評価	14 : 20～14:40	20分
～ 休 憩 ～	14 : 40～14:50	10分
(5) 委員会による評価、意見交換	14 : 50～15:15	25分
(6) 令和4年度指定管理業務の評価結果報告書(案)について	15 : 15～15:30	15分
4 閉 会	15 : 30	

4 令和4年度指定管理業務の評価について（進め方の目安）

- (1) 評価の進め方について [事務局から説明]
- (2) 事前評価結果について [事務局から説明]
- (3) 指定管理者及び県へのヒアリング (40分)
- (4) 評価項目毎に指定管理者から取組状況等について説明(各4分)した後、委員によるヒアリング(4分)を実施する。(各4分×5評価項目)
- (5) ヒアリングでは、各委員が評価の判断を行うに当たって確認を要する事項等について、指定管理者又は県に対して質問する。
- (6) 委員による評価(参考資料1 事前評価一覧への記入)(20分)
 - ① ヒアリングの結果を踏まえ、評価値及びコメントの確認・見直し。
⇒事前評価一覧の「評価」欄には評価基準に基づく5段階評価の結果を、「コメント」欄には優良な取組として評価すべき点や改善を要する事項等を記入する。
 - ② 記入後、事務局が事前評価一覧を回収(変更がある委員のみ)する。
 - ③ 休憩中に事務局が各委員の評価のとりまとめを行う。
- (7) 委員会による評価、意見交換(25分)
各委員の評価を踏まえて、委員会として評価項目毎の評価(評価値 5～1)について協議する(見直し後の評価結果一覧をプロジェクターに投影する)。
- (8) 評価結果報告書(案)について(15分)
 - ① 委員会としての評価結果については、後日、報告書にまとめて公表する。

- ② 委員会当日は、委員の事前評価結果に基づき事務局が作成した報告書案（たたき台）をもとに報告書の内容について協議する。
- ③ 協議結果を踏まえ、後日、事務局が当日の評価結果を盛り込んだ報告書案をまとめ、改めて全委員に協議（書面）する。
- ④ 当該報告案について、全委員の承諾が得られた後に報告書を公表する。

* 9月予定

アイーナ指定管理者選定・評価委員会の評価結果について

施設の設置目的
I 新しい時代の多様なニーズに対応し、交流と連携を生み出す施設
II 岩手の情報発信力を高める施設
III 21世紀を担う心豊かな「岩手のひと」を育む施設
IV ゆとりとのおいのある岩手ならではの生活文化を創造する施設
V 岩手の新しいシンボルとなる施設

評価・判断基準

- 5 計画を上回る優れた管理運営がなされている。
- 4 概ね計画どおりの管理運営が行われている。(標準)
- 3 概ね計画に沿った管理運営が行われているが、一部の業務について、業務の見直しによって改善が期待できる。
- 2 多くの業務について、見直しを行うことで大幅な業務改善が期待できる。
- 1 計画どおりの管理運営が行われていない。(改善指導が必要な状態)

評価項目 (施設の設置目的を実現するための取り組み)		当事者評価
区分	主な業務要求水準・提案	
① 快適な利用環境の創出 【6項目】	1 【総合受付】 来館案内、その他受付関連業務	5
	2 【清掃】 清掃業務全般	
	3 【その他】 サイン類	
	4 【その他】 地域との連携	
	5 【その他】 新型コロナウイルス感染症への対応	
	6 【その他】 新型コロナウイルス感染症への対応 (新しい生活様式への対応)	
② 利用者の声の反映 県民参加型の施設運営 【4項目】	1 【企画運営】 イベント企画・運営 (賑わいの創出、円滑なイベント運営)	4
	2 【広聴広報】 広聴広報活動の企画・立案 (意見の聴取)	
	3 【その他】 利用状況の把握	
	4 【その他】 利用者の苦情処理	
③ 入居施設間の有機的な連携 【2項目】	1 【企画運営】 イベント企画・運営 (入居施設間の交流・連携)	4
	2 【各入居施設との連絡調整】 有機的運営の方策 (運営協議会、センター長会議等)	
④ 県民への情報提供 (県内全域へのサービス提供) 【5項目】	1 【広聴広報】 広聴広報活動の企画・立案 (施設のPR、県民プラザの運営)	4
	2 【広聴広報】 ホームページ企画・制作・管理・運営	
	3 【広聴広報】 印刷物作成	
	4 【広聴広報】 その他、広聴広報活動 (広報ボードの運営、テレビ・ラジオ広報)	
	5 【自主事業の実施・運営】 自主事業の実施・運営 (いわてヒューマンギャラリーの運営)	
⑤ 適切な施設運営 【4項目】	1 【統括】 危機管理対応	4
	2 【維持管理】 維持管理業務全般	
	3 【警備】 警備業務全般	
	4 【その他】 改善計画の取組 (コンプライアンス)	

【全21項目】

(注) 岩手県民情報交流センター (アイーナ) 指定管理者及び県による「当事者評価」の結果を踏まえ、評価委員会において、評価を実施したもの。

いわて県民情報交流センター（アイーナ）
の指定管理業務に関する評価結果報告書
（令和 4 年度業務）

令和 5 年 月

いわて県民情報交流センター（アイーナ）
指定管理者選定・評価委員会

目

次

1	経緯	1
2	アイーナの概要	1
3	指定管理者等	2
4	選定・評価委員	2
5	評価に当たっての考え方と進め方	3
6	評価結果	5
7	講評	8

1 経緯

岩手県では、平成 18 年度に県民の文化活動等に関する情報の交流及び連携の場を提供し、地域文化の創造と発展に役立てるため「いわて県民情報交流センター（愛称：アイーナ）」（以下「アイーナ」という。）を設置しました。

アイーナの管理運営については、施設の設置と同時に指定管理者制度を導入しており、平成 18 年度から平成 23 年度までの 2 期 6 年間については、公募による審査を経て選定された株式会社 N T T ファシリティーズを代表団体とする 6 者グループが指定管理者として管理運営を担い、平成 24 年度については、平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災津波の影響により募集ができなかったことから、特例期間として、再度同 6 者グループが指定管理業務を担いました。

平成 25 年度から平成 27 年度までの第三期指定管理期間については、図書館運営業務を分離して指定管理者の募集を行い、株式会社 N T T ファシリティーズを代表団体とする 4 者グループが管理運営を担いました。

平成 28 年度から平成 30 年度までの第四期指定管理期間については、株式会社 N T T ファシリティーズを代表団体とする 5 者グループが管理運営を担いました。

令和元年度から令和 5 年度までの第五期指定管理期間については、引き続き株式会社 N T T ファシリティーズを代表団体とする 5 者グループが管理運営を担っています。

指定管理者の業務については、これまでの県及び指定管理者による自己評価に加え、客観的な第三者による評価・検証等を行うことを目的として、平成 21 年 10 月に「いわて県民情報交流センター（アイーナ）評価委員会」を設置し、平成 20 年度から平成 23 年度までアイーナの指定管理者の業務に関する評価を実施してきました。

平成 24 年度からは、「いわて県民情報交流センター（アイーナ）指定管理者選定・評価委員会」（以下「選定・評価委員会」という。）に改編して、指定管理者の選定と評価を一体的に行っており、今般、「選定・評価委員会」において、令和 4 年度におけるアイーナ指定管理業務に関する評価を実施しましたので、ここに結果を報告します。

2 アイーナの概要

(1) 所在地 盛岡市盛岡駅西通一丁目 7 番 1 号

(2) 位置図



- (3) 交通アクセス JR盛岡駅から徒歩4分 東北自動車道盛岡ICから車で8分
- (4) 敷地面積 9,000 m²
- (5) 建築面積 7,855 m²
- (6) 延床面積 45,875 m²
- (7) 階数 地下1階、地上9階
- (8) 建物高さ 最高部高さ 47.4m
- (9) 構造 鉄骨造（一部鉄骨鉄筋コンクリート造）
- (10) 工期 平成15年3月1日～平成17年9月30日（31ヶ月）
- (11) 総事業費 約245億円（用地取得費(17億円)及び建設費等の総事業費）
- (12) 開館時期 平成18年4月1日(土)（一部施設は同年5月8日(月)）

3 指定管理者等

指定管理者：結（ゆい）グループ（構成企業は次記のとおり）

指定期間：平成31年4月1日から令和6年3月31日まで

会社名	所在地	主な業務内容
株式会社NTTファシリティーズ	東京都港区芝浦三丁目4番1号	施設全般の管理運営に係る統括
株式会社 めんこいエンタープライズ	盛岡市本宮五丁目2番15号	施設全体の運営業務（貸出・備品管理業務、自主事業等）
鹿島建物総合管理株式会社	東京都新宿区市谷本村町2番1号	建築物・設備の保守管理業務等
一般社団法人 岩手県ビルメンテナンス協会	盛岡市大通三丁目2番3号	清掃業務
岩手県ビル管理事業協同組合	盛岡市盛岡駅西通二丁目9番1号 マリオス13階	警備業務

4 選定・評価委員

委員長	吉野 英岐	公立大学法人岩手県立大学総合政策学部 教授
副委員長	武田 裕次	一般社団法人岩手県建築士会盛岡支部 副支部長
委員	佐藤 あすか	岩手弁護士会 弁護士
委員	成田 礎野美	認定NPO法人 accomon 理事長
委員	R5.6.29まで 小杉 雅之	一般財団法人北海道東北地域経済総合研究所 主任研究員
委員	R5.6.30より 蓮江 忠男	一般財団法人北海道東北地域経済総合研究所 理事・主席研究員
委員	平 野 順子	Coaching Office 代表
委員	三浦 まり江	特定非営利活動法人陸前高田まちづくり協働センター 理事長

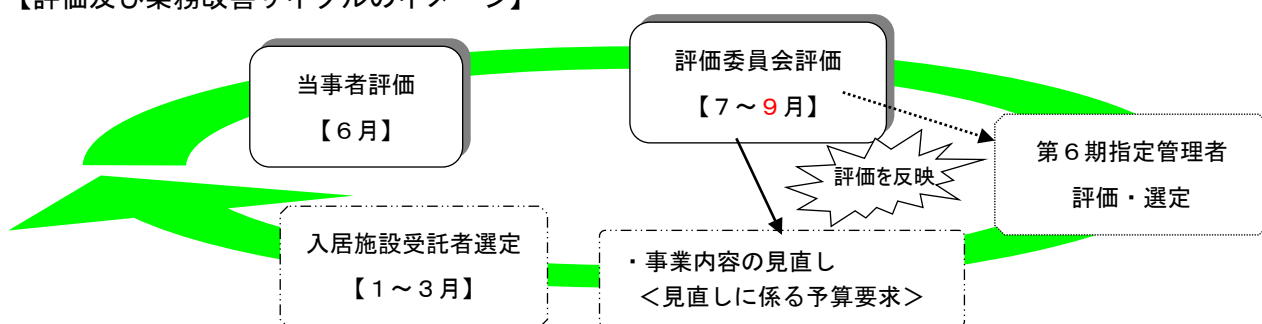
5 評価にあたっての考え方と進め方

岩手県では、指定管理者制度を導入している公の施設の管理運営状況について、「指定管理者制度導入施設の管理運営に係る評価について」（指針）により、県と指定管理者が評価（自己評価）を行っていますが、アイーナでは、より客観的な評価・検証等を行うため、独自に選定・評価委員会を設置しています。

（1）評価の目的

本選定・評価委員会では、指定管理者が行う業務について、客観的な評価・検証等を行うことで、指定管理者の業務改善の取組を促進し、施設が提供するサービスの質的向上を図ることを目的としています。

【評価及び業務改善サイクルのイメージ】



（2）評価の対象及び実施方法

1) 評価の対象

令和4年度の指定管理業務

2) 評価項目

アイーナの管理運営に関し、当初から設定している特に重要な以下の5つの視点の評価項目を設定しました。

① 快適な利用環境の創出
② 利用者の声の反映／県民参加型の施設運営
③ 入居施設間の有機的な連携
④ 県民への情報提供（県内全域へのサービス提供）
⑤ 適切な施設運営

※ 令和4年度評価では、「① 快適な利用環境の創出」に【その他】新型コロナウイルス感染症への対応及び新型コロナウイルス感染症への対応を令和2年度、令和3年度に引き続き、評価項目として追加しています。

3) 評価方法

- ① 評価項目に対する指定管理者の取組について、県及び指定管理者の自己評価結果を基礎資料として用いました。
- ② 評価の過程で、指定管理者や県に対するヒアリングを実施し、自己評価に関する確認等を行いました。

③ 基礎資料やヒアリングの結果を踏まえて、選定・評価委員会で審議を行い、次記の評価基準により、各評価項目について5段階で評価しました。

(4) 評価基準

評価	判断基準
5	計画を上回る優れた管理運営が行われている。
4	概ね計画どおりの管理運営が行われている。(標準)
3	概ね計画に沿った管理運営が行われているが、一部の業務について、業務の見直しによって改善が期待できる。
2	多くの業務について、見直しを行うことで大幅な業務改善が期待できる。
1	計画どおりの管理運営が行われていない。(改善指導が必要な状態)

(3) 選定・評価委員会の経過

令和5年度第1回選定・評価委員会	
開催日時・会場	令和5年5月29日(月) 13:30~16:00 いわて県民情報交流センター 7階 会議室701
公開・非公開	公開
審議内容	ア 報告事項 ① 前回(令和3年度業務)評価への対応について ② 県及び指定管理者による自己評価(令和4年度業務)の結果について イ 協議事項 ① 令和4年度業務の評価の実施方法について ② 次期指定管理者の募集について

令和5年度第2回選定・評価委員会	
開催日時・会場	令和5年7月24日(月) 13:30~15:30 いわて県民情報交流センター 8階 研修室811
公開・非公開	公開
審議内容	令和4年度指定管理業務の評価について

6 評価結果

評価項目	評価結果	コメント
<p>① 快適な利用環境の創出</p>	<p>4</p>	<p>【評価コメント】 概ね計画どおりの管理運営が行われている。</p> <p>【評価の視点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ オンライン環境整備による利便性向上の取組 コロナ禍において、オンライン会議の開催ができる環境等を整備し、利用者の利便性を高めた点を評価する。 ○ 職員の研修 長期的視野で、サービス向上を図るための職員研修の受講を積極的に進めるとともに、防災士試験の合格などの実績を出した点とさらなる防災機能強化への取組を評価する。 ○ 地域活動 学校や他団体など地域との連携を積極的に行っている点を評価する。 <p>【更に優れた管理運営に向けた助言】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 企画の継続及び発展 地域にアイーナが出張しイベントを行うアウトリーチ企画の実施など、施設の交流手法を県内施設へ展開し、継続の取組となるよう、また、アイーナの交流・発信拠点としての機能発揮につながるような取組に発展することを期待する。 ○ 会議の新たな手法に対応した環境整備の継続 ハイブリット型の会議等への対応による環境整備の継続とセキュリティ対策の強化を期待する。
<p>② 利用者の声の反映／ 県民参加型の施設運営</p>	<p>4</p>	<p>【評価コメント】 概ね計画どおりの管理運営が行われている。</p> <p>【評価の視点】 ワークショップの開催、With コロナ、After コロナを意識した事業の企画や「～aiina NEWS 電子版～」の運用、CAPIC 製品の取り扱いを開始する等の工夫がなされている点を評価する。</p> <p>【更に優れた管理運営に向けた助言】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 以前の賑わいが戻る中で、利用者の声を聴きながら、参集型イベントへ安心して参加できる施設運営が行われることを期待する。 ○ 「～aiina NEWS 電子版～」は、アイーナが身近に感じられるきっかけになったと思われることから、継続を期待する。 ○ ヒューマンギャラリーの運営の仕方に前進が見られたことから、継続を期待する。

評価項目	評価結果	コメント
③ 入居施設間の有機的な連携	4	<p>【評価コメント】 概ね計画どおりの管理運営が行われている。</p> <p>【評価の視点】 ○入居施設間と連携した具体的な取組の実施 アイーナライトアップ、いろいろアイーナなど、多くの人に広くアイーナの存在を認知させる取組となっている点及び入居施設と連携して、アイーナを盛り上げていこうとする機運を評価する。</p> <p>【更に優れた管理運営に向けた助言】 ○ 現在の取組の継続を期待する。 ○ アイーナ指定管理者がリーダーとなって入居施設において連携する取組をリードすることを期待する。</p>
④ 県民への情報提供（県内全域へのサービス提供）	4	<p>【評価コメント】 概ね計画どおりの管理運営が行われている。</p> <p>【評価の視点】 ○ テレビ、ラジオ、HP、SNS、紙媒体等多様な媒体の活用 ○ 「～aiina NEWS 電子版～」の立ち上げやQRコードの活用によるWEBへの誘導 上記による、新たな県民への情報発信の努力を評価する。</p> <p>【更に優れた管理運営に向けた助言】 ○ 効果的な情報発信の手法やリアクションを得られる情報発信の方法について、検討することを期待する。</p>
⑤ 適切な施設運営	4	<p>【評価コメント】 概ね計画どおりの管理運営が行われている。</p> <p>【評価の視点】 ○ エネルギー使用量の節減実績 平成26（2014）年度日15.8%削減（目標6%削減）実績 ○ 施設の管理、運営、訓練等の計画的実行</p> <p>【更に優れた管理運営に向けた助言】 ○ 経年による内部仕上げの劣化等への対応について、県とも相談のうえ、修繕等を進めていくことが望ましい。</p>

7 講 評

指定管理者制度導入の目的は、多様化する住民ニーズに、より効果的・効率的に対応するため、公の施設の管理に民間能力を活用しつつ住民サービスの向上を図るとともに、経費の節減等を図ることにあります。

本選定・評価委員会では、こうした制度導入の目的が果たされているか、アイーナの設置目的に沿った管理運営がなされているかという視点で、指定管理者の取組を評価しました。

令和4年度の指定管理運営業務については、県が求める水準や事業計画に沿って実行されており、新型コロナウイルス感染症の影響による催事の中止や利用者の減少の中でも、新たな取組みとして、アイーナの情報発信の電子化やオンライン環境の整備などが行われた点について、高く評価することができます。また、館内の消毒作業を強化・継続するなど適切に対応することにより、全体的に概ね計画どおりの管理運営がなされたものと評価できます。

なお、評価項目については、全ての項目が「概ね計画どおりの管理運営が行われている」という評価結果ではありましたが、「更に優れた管理運営に向けた助言」として今後取組が必要な内容を示していますので、これを踏まえた取組が行われることを望みます。

指定管理者には、本評価結果やこれまでの運営実績から得られたノウハウを生かしながら、引き続き、柔軟かつ創意工夫を凝らした取組を積極的に行い、更なる利用促進及び利便性向上に向けて、業務の改善に引き続き取り組まれることを期待します。

また、入居施設の連携による創意工夫を凝らした催事等の取組が、アフターコロナとマッチした県内施設をリードするような取組に発展することを期待します。

今後の施設管理に当たっては、建物・設備の老朽化による工事件数や備品の更新件数の増加に備え、省エネ設備の導入に向け最新情報を県と共有のうえ現状に合った対応策を検討するなど、適切な維持保全を県と協議しながら、設備更新を進めることを期待します。

指定管理者及び県においては、役割分担に沿いながら、重要な課題である設備等の更新・維持を含め安心してアイーナを利用していただくための方策を入居団体とも連携しながら十分に検討することを望みます。

また、利用促進に関しては、アフターコロナに対応し、WEB を活用した情報発信の強化や新たな層の利用者の開拓、地域や入居施設との連携の強化による利用者や来館者数の増、認知度の向上につながるよう取り組まれること、また、オンライン会議の増加などに対応した環境づくりの継続実施に今後も取り組まれることを期待します。